

1. 件 名：原子燃料工業株式会社による核燃料輸送物設計承認申請（Traveller XL型）に係る面談（3）

2. 日 時：令和2年9月29日（火）13時30分～14時45分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

東管理官補佐、甫出主任安全審査官、山後安全審査専門職、田口係員

原子燃料工業株式会社

エンジニアリング事業部 エンジニアリングサービス部

プラント・サイクル技術グループ 参事 他3名※

5. 自動文字起こし結果：

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

6. その他：

【事業者からの配布資料】

資料1 核燃料輸送物設計承認申請（Traveller XL型）に係る審査会合での指摘事項の回答について

資料2 （口）－E 臨界解析

資料3 模擬燃料集合体の代表性についての検討

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それではですねただいまから原子燃料工業さんのトラベルIXL型に係る面談を開始したいと思います。
0:00:11	まず不開示情報の発言はしないように注意をしてください。不開示情報発言してしまった場合にはその場でその旨を指摘をしてください。
0:00:21	はじめにですね所属氏名を述べてください。
0:00:26	使用しないとき、マイクのスイッチはオフにしておいてください。
0:00:31	それではですね資料送っていただいておりますので、原子燃料工業さんのほうからまず御説明をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
0:00:42	はい。原燃工のキタノの方から説明いたします。
0:00:47	まず資料1ですね、こちら、審査会合での指摘事項に対する回答という
0:00:55	題名のプレゼンプレゼン資料ですけれども、前回のメンバーン時にも使えました資料を
0:01:04	下のコメントを受けた分、改訂した。
0:01:08	入ってした資料になってます。
0:01:12	で、
0:01:14	ちょっと前回説明した部分と多少かぶる部分が出てくるんですけれども、順番に説明させていただきたいと思います。
0:01:23	指摘事項。
0:01:26	まず1としましては、模擬燃料集合体を持っていた時でしょうし、試験の結果を持って弊社性の集合体の損傷状態を想定できることを説明することと、
0:01:40	模擬燃料集合体では亀裂が確認されたものを
0:01:46	系列が小さいペレットの脱落等が発生しないと、現状のSARが説明しておりますが、それが現年5000燃料に対しても同じことがいえるかという点になります。
0:02:01	めぐりまして、2万円、2枚目ですが、遮へい、こちらをまずし回答の一つ目としまして、発生メカニズムについて説明しております。こちらあまり前回の面談時から
0:02:16	メカニズムの説明自体はほとんど変わっておりませんが、炉前
0:02:23	の附属1で述べましたようにCPUで落下したA系列の発生した燃料棒については、
0:02:30	いずれのいずれも集合体の四隅にある燃料方法であったことだことが確認されております。こちらはAP3 ページ3 ページに示します。図1、
0:02:44	のところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:45	こちら集合体、
0:02:47	の株ノズルからから見た断面図となつてましてこちらの示す黒く塗りつぶされた燃料棒の部分にき裂が発生したと。
0:02:59	ということが確認されております。
0:03:03	次に設定落下試験後の株ノズルの変形を確保しますと、燃料棒との接触面は中央部が大きくワン型に変形しまして、予算が内側に折れ曲がり変形しております、こちらはPdオン
0:03:20	ページのところに株ノズルの変形後の写真を載せさせていただきます。
0:03:26	かつこちらの増員、写真を見ますと、過温中央部の変形ですけど、こちら見ますと下部ノズルが湾型の変形をしていることがわかるかと思ひます。これによって、まずは落下ですね、各ノズルがまだ赤字の衝撃を吸収すると。
0:03:44	いう形になって燃料棒の中央部の
0:03:49	表の燃料が受ける衝撃荷重というのは小さくなる方向であると考えられる。
0:03:56	一方、要するにの方に関しては、中央部と比較して足に近いというところで、足があるので、変形しても、その衝撃吸収の効果が少ないし、ショックを吸収
0:04:10	向こうから小さいというところで、
0:04:15	様子見の燃料棒に生じる衝撃荷重が中央区と比較して大きくなると考えられます。
0:04:21	また、
0:04:23	内各ノズル自体が中の内側に折れ曲がり変形をしておりますので、燃料棒に対して曲げ応力を発生させることになるということもULと思ひます。
0:04:36	はい、以上のことから必要な箇所権利に発生した燃料棒の亀裂っていうのは、様子見に集中していたことから、その要因としては、
0:04:48	燃料棒方に生じた衝撃荷重衝撃によって処分衝突によって生じた収益と
0:04:57	あと各ノズル、
0:04:59	の間借りによる曲げ応力の複合によつてもっと考えられる。
0:05:05	うん。ここまでは不正のメカニズムになりますので、鎖線 5 ページ目の通算のほうには、
0:05:12	なければ、発生イメージ図のほうを載せております。
0:05:20	さっきのページ以降からが新しい内容になってきますが、
0:05:27	はい、今まで御説明したのは、模擬燃料集合際の形状から考えた場合、
0:05:37	この軽度だったらこういった発生。
0:05:40	メカニズムで亀裂が発達したんでしようということを説明した対応になってましたが、ここからはまず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:05:49	それが原燃工線燃料に大きく変わった場合どうなるかということを説明しております。
0:05:57	あと、
0:05:58	弊社で過去に実施しました。原燃工構成の模擬燃料集合体に対する単体の落下試験の結果をここからは説明しております。
0:06:09	燃料のタイプとしましては、17型Vこうなのね。
0:06:14	落下方向。
0:06:16	集合体のハブから垂直Aだかせております。
0:06:23	'かたかたとして5mになってまして、こちら単体での学科試験容器も伴わない学科試験ですので、最大化速度にでいますと、こちらのB6ページに示した
0:06:40	加速度がかかっているところで、またバラバラEXCEL輸送物に対する救命する赤字の
0:06:48	株ノズル方に発生する最大加速度、こちらもP6でマスキングさせていただいてますが、こちらに示した値と比べてこういった関係性になっていると。
0:07:01	その単体の中でのほうは
0:07:06	言葉を置き換えた形になっております。
0:07:12	次、7ページに移りまして、
0:07:15	落下時の挙動としましては、
0:07:19	タンタル落下試験における先ほど申しましたようにさえ団体落下試験における最大加速度はEXCEL型の4m、垂直落下時の波速度よりも大きいと。
0:07:32	かぶらざるの
0:07:36	／右図4に落下試験後の変形した集合体の写真を載せておりますが、こちらは下部の図の中央部が完全に真面目に接触面に接種局、
0:07:50	シェルというのがわかるかと思えます。
0:07:53	ですので各ノズル主要部がましよう衝突面に接触するまで最大限が変形したと。
0:08:00	いう形でそれは本立て変形したとしても、
0:08:07	各などの変形でお詫びXa燃料よりも小さくて、燃料棒の衝撃荷重は、大きくなるほうが一方で、変形量株のその変形量が
0:08:19	実際の
0:08:21	曲げ応力ですね、横から各ノズルが曲がることによって燃料棒に関わる曲げ応力というのは小さくなると思うんであるというです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:08:30	試験後の燃料棒に対する観察結果ですとか分散栓溶接部に大きな曲がりというのは見られず、またレポート自体に亀裂破損というのは確認されなかったということがわかっております。
0:08:46	以上のことから考えますと、A社製燃料集合体は想定される中での衝撃では燃料棒は、
0:08:56	発生しないと、あとラブルックスへの輸送船想定される中での消費者が燃料破損ありません。
0:09:02	また、もっと模擬燃料集合体タイプへべくへの模擬燃料集合体で確認された燃料棒の曲がりも発生しないのでまず燃料、
0:09:16	亀裂、破損は発生しないと考えられます。
0:09:20	8のほうに
0:09:25	下部のところですね、営業を比較した写真載せておりますが、こちら比較してみましても、弊社製燃料のほうが明らかに曲がり小さくなるだろうというのがわかるかと思えます。
0:09:40	以上まとめますと、ペイできる
0:09:47	に示しております通り、き裂の発生した燃料棒1株の図の変形挙動から越流落下試験によって発生した燃料が起きると。
0:09:57	修祓燃料集合体落下時に燃料が受ける衝撃荷重及び四隅の株除く偏見伴う燃料棒への協力が複合したものによると考えられます。
0:10:09	この弊社が行った単体での試験結果において、いらっしゃ燃料集合体は、
0:10:18	今回の輸送物で想定される落下時の加速度を大きく及ぶ衝撃を与えているか、燃料棒亀裂破損は認められなかったと。
0:10:27	以上の結果から考えますと、もう懸念の焦点を用いた評価というのが保守的な評価となっております、弊社性燃料集合体大ざっぱさせた場合、A系列のほうは発生しないと考えられます。
0:10:42	それぞれの指摘事項1、一、二に対する回答は以上です。
0:10:48	すいません規制庁のサンゴですけれどももまずここまででちょっと質疑を行いたいと思いますがよろしいですか。
0:10:54	はい。お願いいたします。
0:11:02	規制庁のサンゴですけれども、
0:11:07	落下試験での
0:11:10	燃料集合体に対する加速度が解析値で与えられていて、
0:11:16	それとは別に、原子燃料工業さんの燃料集合体の落下試験の
0:11:23	計測した加速度。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:11:26	多分、まず比較すると。
0:11:31	原子燃料工業さんの落下試験の加速度のほうが条件の厳しい。
0:11:37	という理解でまずでしょうか。
0:11:40	はいその通りでございます。
0:11:42	はい。規制庁のサンゴですけれども、その上で、
0:11:46	厳しい条件で落下させたNFI津南の燃料集合体は、
0:11:52	亀裂破損等が見られなかったのも、
0:11:56	それより条件の緩和されるトラベルIXL型に収納した場合は、
0:12:03	当然といった、
0:12:07	破損状態が見られないはずであるという理解でいいですかね。
0:12:14	はい、そのようにご理解いただければと思います。
0:12:17	その次なんですけれども、
0:12:20	今回収納頭痛の集合体が幾つか挙げられているかと思うんですけども。
0:12:28	それらの中で原子燃料構造間の燃料集合体応答したときの試験に使った
0:12:36	燃料タイプのもので、
0:12:39	一番変形しやすいものであるみたいなことは、
0:12:47	資料2のほうに書かれているというふうになってるんですかね。
0:12:53	何か端的にいろいろ
0:12:56	何を比較して大きい小さいから、
0:13:00	だみたいなことが今、簡単に御説明いただけるとわかりやすいんですけども。
0:13:08	はい。
0:13:11	例えば、先ほど上げのキタノですね、先ほど資料2棟されましたけど、例えば3-3ですか。はい。
0:13:19	はい、書かせていただいておりますがおおよそ
0:13:24	予算の内容について資料1に書かれている。
0:13:28	この後、
0:13:30	一致はするんですけどそれにプラスアルファ、鶏舎製燃料間のデザインの違いによる影響というのも1人で具体的な場所としましては、
0:13:44	どうぞ附属3-18ページ。
0:13:50	こちらは
0:13:55	基本的には17型のほうが集合体重量
0:14:00	では、お思いと、
0:14:03	いう点。
0:14:04	で考えますと、下部ノズル変形であって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:14:09	いう観点で言えば、17。
0:14:13	またのほうが厳しいであろうというのはあるんですが、冒頭単体で見ただけの流量ですね、17型と比較しまして14型、
0:14:24	の方が1045のほうが重いという事実は確かにございます。また、果樹園さんは、補足3-18ページに記載させていただいてる通り、
0:14:38	47号の中で比較しましてもこの程度の差。
0:14:43	いうところ。
0:14:45	ちょっとマスキング箇所なので伏せさせていただいてますけど、この程度の差であるということ。
0:14:52	では、ARとする知見を考えまして、そもそも
0:14:59	あなたへ落下試験の最大加速度となげプラグラックセル型輸送物に対する垂直落下というの加速度であったり、
0:15:09	あと
0:15:10	ピックアップです14がターの方が17型これは
0:15:19	あわせて、ループの有効面積というのはあまり約1.3倍大きいであろうという字です。あと先ほど申したように主要滞留量が
0:15:29	遺体は軽くても下部の図が変形は小さくなるであろうといった点を
0:15:35	考慮しますと、
0:15:38	流量が重くなる分母単体で見るとわずかで厳しくなる点はあるんですが、加速度に街路より厳しい条件で行ってる点であったりとか、溶接施工肉厚が言って、
0:15:53	溶接部の有効面積が
0:15:55	／兵庫席に考えますと⑭は例えばこないだであろうという考察をさせていただいてます。
0:16:04	以上です。
0:16:05	すいません規制庁のサンゴですけども、総合的にというふうになると何がどれぐらいの割合できいてくるみたいな話Cをはっきりさせないと何かわかりにくいんですけども、それはちょっと置いておいて、
0:16:23	燃料棒の重量の比が幾つぐらいあって、
0:16:31	そのなんて言うんすかね重量差によって、衝撃加速度が、
0:16:37	重いので商企加速度が増える方向だと思うんですけども、増えたとして、
0:16:46	なんて言うんすかね、どれぐらい
0:16:49	増える。
0:16:50	けれども、集合体全体としての10アール。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:16:56	なんて言うんですかね。
0:16:57	重量の比較からすると燃料棒単体に衝撃加速度が何倍とかかかっても大丈夫みたいな何かそういったことはいえる、言えないんでしょうか。なんかを
0:17:10	ただあんまり具体的長く上限っていうのは今、現で避けてるような資料になっちゃってはいるんですけども、ざっくり重量がこんだけの差がありました。
0:17:26	それに対して、
0:17:29	速度、今回、
0:17:32	お示ししてる。
0:17:35	そこでなぜ見たとしても、
0:17:38	重量による、
0:17:40	よりも大きい溶融があるという点。
0:17:45	これ、この1点だけでも、
0:17:50	壊れませんよという説明ができるかもしれない。
0:17:53	それプラスアルファ肉厚文化、さらに余裕ありますよというような気もします。
0:18:00	はい。
0:18:02	すいませんホデですけども。
0:18:07	やっぱりね、最終的に判断するべきところはやっぱり数値で比較して欲しいんですよ。
0:18:15	ですから、例えば指標であれば、1717 でね。
0:18:20	ここ、ここでこのままこの加速度でもいいし、ある加速度単価そこで一時でもいいです。それに対して、
0:18:29	こういうモードに対して応力の発生はこの程度ですよとかね。
0:18:34	そうすれば、ものの壊れやすさ壊れにくさっていうのがはっきりすると思うんですよ。
0:18:43	要はここで示していただいた 1717 のタイプ 57 でやったここで示されている加速度まあ加速度家族ではもう入力条件ですから、
0:18:59	ある加速度が生じたときに防それぞれにどれぐらいの応力がかかるのかとかね、そういうことを踏まえて、
0:19:11	で、その結果ね、1717 が一番大きい例えば応力なり何なり出てきますよということであれば、他の、要は 1044 とか 1515 とかねというような燃料に対しては、
0:19:26	要は、発生する加速度で加速データごめんなさい。
0:19:31	応力なり変形してるか、変形するっていったらいいはず実際あの塑性変形起こってるからひずみでもいいと思うんですけども、は何%、例えば 80%ですと、いうふうな話がね、出ていれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:19:47	ここで今回
0:19:51	準備いただいた資料の内容で、
0:19:54	基本的に、これで見れば大丈夫だねということで、
0:19:58	通ると思うんですよ。ただ、やはり
0:20:04	幾つか収納したいという燃料があるのであって、それがすべてやっぱり
0:20:11	どんどん出す同一かねいろんな臨界解析とかその辺のモデル化をやる上でね。
0:20:18	共通のモデル使って、これがチャンピオンですよというふうな、やっぱりそこはね、何か数値で示して何か直接わかるようなね、数値で、
0:20:30	それは確かにいろんな読み取りを示してやるやり方はあると思いますけれども、
0:20:37	ただ住民 1 人だけでは直接何に効くのかっていうのは、
0:20:41	何となく経過でかいから面積がでかいからということだけでは、やっぱり直接の要は剛性なり、そういうものの比較にはならないんでね、そういうことを踏まえてちょっともう少しその辺をちょっと整理していただいて、
0:20:57	チャンピオンがこれですよ。でもいいですし、要はこの燃料でやってこの結果だから、例えばここで示されているものに対して何倍であっても全然問題ありませんっていう結論でも、
0:21:11	例えば 1717 に対して、ほかの燃料が例えば 10% 高いかもしれないけれども、それは全然ごみのうちですよということでも全然構わないと思うんだよね。
0:21:22	というその辺で、今
0:21:25	原燃工さんが示していただいた、この壊れないというロジックがすべてに成り立つということをね、見える化していただく。ちょっと検討いただけないですかね。
0:21:38	はい、承知いたしました。枚目、今、
0:21:43	今のところのイメージとしましては、ホデさんおっしゃられた。
0:21:48	後者のほうです。
0:21:51	ただし、
0:21:52	こういった面は厳しい意見はあるかもしれないけど、それでも、そもそも余裕があるんで出ませんような形で、おそらく説明する。
0:22:01	やっぱなんていうのが今の意味ですか。はい。今と附属資料のほうではちょっと置かしたような定性的な書きぶりになっているので、もう少し、
0:22:13	定量的な
0:22:15	書くということでほぼ私だけでなく、このプレゼンのほうにもっていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:22:23	うん屋根、わかるようにはいこうこうですよっていうことであって欲しい。そういうふうを示す示すことができれば、やっぱり
0:22:37	やっぱり回のね、
0:22:39	理解のプラスになりますんで、そういう方向でちょっと御検討いただければと思いますんでね、今後、あともう一点いいですか。すいません。
0:22:49	はい。
0:22:51	この
0:22:53	燃料の単体落下試験、
0:22:55	トラベルIXLの中に入った燃料の状態とKlabシェルに入った状態。
0:23:03	これがね。
0:23:05	基本的に変わらないと。
0:23:07	いうこともどっかに言っというて欲しい。
0:23:10	伏角明らかに例えば御社の御社の現在使われてる輸送容器とかのように支持格子を固縛するとかという形になった。
0:23:23	いうものではないですよ、トラベルエクセルはね。
0:23:27	で、より多分、単体落下試験に近いと思いますんで、そこが、要は、基本的に燃料を取り巻く環境は変わらないよということで、実際やってみて、これだけの事故が発生しても壊れなかったと。
0:23:43	それに対してどれぐらい吸えるの中での
0:23:48	実際に発生する加速度って、こんなもんだからと。
0:23:52	いうふうな形でね、示していただいて、同じ土俵に乗って厳しい環境であって、その結果問題ないと、その結果がすべての燃料に対して、
0:24:06	それぞれの燃料のところ、時読み取りとか剛性比較した結果、
0:24:11	こうなるから、全部、全部問題ないよっていうふうな形でね、ちょっとシナリオ、シナリオとか説明を考えていただければと思います。
0:24:22	計画しました。
0:24:25	規制庁のサンゴですけれども、ちょっと話が戻ってしまって申し訳ないんですけれども、
0:24:32	そもそもこういった比較をするときに集合体重量で比較をするっていうのはわかりやすいんですけれども、燃料棒単体の重量を比較する意味っていうのは本当にあるかどうかって言うのはどういう考え方なんでしょうか。
0:24:52	集合体そのものに対しては、
0:24:56	某自体は摩擦でもって固定されていて、で落下するときも別にするする防だけ勝手に落ちるわけではなくていいですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:25:07	何かその遠いそういった状態でぶつかったときには、そのぶつかり具合によって摩擦より大きい力働けば、その講師からずれているということはまあわかるんですけども、
0:25:19	何かそのときの物が燃料棒の単体の重量が影響するんでしょうか。
0:25:35	お医者さん何かいい感じで答えています。すいません。
0:25:42	あれ、すいません現行のヨシダですけども。はい。
0:25:47	私は
0:25:53	まずは落下試験と整備に我々も
0:25:59	複数のタイプの燃料集合体を運ぶ場合、思っても、
0:26:06	また面倒収納物として入れて、落下試験を行うというのはその開発しても、現実的なところを耐えますので、
0:26:17	我々がNC部燃料集合体を有する機器を開発するとして、まだ試験をかかるとなるとは準備が悪し損し仕事が一番壊れやすい。
0:26:29	ものを選択するということとされてますの中で検索するのは、まずのほうは全体の家族の仕事加速度が大きいだろう。
0:26:43	エンシュウのことですね、今回の場合でいうと、THAI不幸な弊社世帯ごとの燃料に絞って、これは今答えようとして
0:26:55	はい。
0:26:56	はい。その被覆管のA断面で規模の小さいものでございますのでこれを選択しているということにしていく
0:27:07	燃料棒の回れというところでは確におっしゃる通り、
0:27:13	号館た重量としては
0:27:17	タイプの燃料棒が大きいという御指摘もございましたので、我々としてはこの集合体のこの
0:27:23	ビュー口大きいほうから厳しいという加速度が厳しくなるということで、壊れたとしては、
0:27:33	厳しい方向だと思ってるんですけど、今回／年両方の
0:27:38	名簿単体としては
0:27:40	14タイプの燃料棒のほうが重いという事実がございますので、その辺りを
0:27:47	先ほどこれさんからおっしゃられた通り、より定量的にですね、例として、ある
0:27:57	一定の加速度同じ各部と赤条件でも、
0:28:02	我々が今評価対象としての方が厳しいですよということを示した。
0:28:09	のかなというふうに考えております。
0:28:12	こちらで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:28:16	反応度さの大きい並べている言葉でしてますでしょうか。成長サンゴけども、
0:28:23	仰りたいことは、わかるんですけども、そもそもの話として、
0:28:30	燃料集合体同士Co前塊であるので。それを比較してっていうところで、
0:28:38	その中の一部の方単体を何か抜き出して比較する意味が本当にあるのかっ ていうところで、
0:28:48	あるんですかね。やっぱ原料として上げま
0:28:52	ただ、おっしゃる通りちょっと別置そこら辺は微妙なところあるんですけど、例え ば、
0:29:00	壮年集合体Eに対して前落下の衝撃は変わったときに、
0:29:07	やっばろうあどうしても
0:29:10	動いてしまうんですけど、
0:29:12	グリットである程度固定はされてるんですけども、強い衝撃が働くとすぽん と。
0:29:20	抜けるような動きをするっていうのは、実際にある話ですので、
0:29:26	そういったことを考えると防単体の重量っていう観点も少しは考えないといけな いのかなという
0:29:36	ところで。はい、規制庁のサンゴですけども、そうすると、
0:29:42	その集合体で落としてるっていう状態。
0:29:46	いろいろなことを考えているっていうところなんですけども、防単体で考えなき やいけないっていうことは、そもそも集合体じゃ落とさなくても、防単体で落とし ても同じような、なんていうんですかね知見が得られるということですか。
0:30:01	現行のヨシダです。
0:30:05	必ずしも等というわけではございませんで
0:30:08	燃料棒というの支持格子
0:30:11	この中に組み込まれてると。
0:30:14	いうところもございますので、Asanoをやはり集合体としてどういう挙動を示す か仕事の中の燃料としてどういう挙動を示すかということを仕事は燃料、
0:30:27	予想としては考えていく必要答えますので、
0:30:34	もう重量の違いというのは、
0:30:40	それにより、幅が出てくれというところは確かなんですけども、やはりこの集 合体輸送物の中状況としては模擬燃料を
0:30:55	想定した状態で検討しなければならぬと。
0:31:01	これは確かなものかなと思っています。全くその法単体と仕事ではなかった地 域ごとっていうのは変わってくると思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:31:13	はい。規制庁の最後ですけども、
0:31:15	そうすると、
0:31:18	今、燃料も単体の重量みたいな比較が参っているんじゃないかという指摘でそうなるんですけど。
0:31:28	某自体は本数の違いってこれあるんですかね、ほかのいろんな燃料集合体のやつで、そういったのは影響するんですかしないんですか。
0:31:40	系内の方の公表ですね、なった時理由なんですと14。
0:31:47	14×10トンと。
0:31:50	179中、
0:31:53	ちょっとここでもしれませんなの。
0:31:56	べくがあのもの本数としては変わります。
0:32:02	変形の挙動に対して本数は影響しますか。
0:32:11	はい。
0:32:14	過温数というのは私は撤去しないのではないかと。
0:32:19	いうふうに考えて今全体的には構造が影響する可能性はございますけれども、
0:32:27	弊社青年炉ですと、基本的な構造が変わっておりませんので、
0:32:35	燃料棒のタイプによって保つによって何か変わるというところはないと考えております。
0:32:45	何かそういう点で、今、
0:32:48	資料3のほうの
0:32:51	19ページ目に今いろいろ
0:32:56	仕様が載っていて、
0:32:58	0変形に影響するのかないのかってところを書いていたいただいていると思うんですけども。
0:33:06	しないものを書いてある資するものも書いてあるってところからすると、何かこれだけで足りるのかみたいな話。
0:33:14	なんか検討してもらってるんですかね。
0:33:28	すいません現行の浅地電波方向質問のところもちょっとすみません、お願いしたいんですがすみません、背景と附属資料空き家附属資料っていうか、今日の資料3-3-19ページ目のところで、
0:33:44	集合体の構造の違い等亀裂への影響ということでまとめていただいているんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:33:54	今模擬燃料集合体に対してNFI製燃料集合体というふうの一つになっているからなのかもしれないんですけども。
0:34:05	影響するものとしらないものと、この表の中に入っているんですけども、燃料集合体の仕様を示すものとして、何かこれだけで足りてるのかなというところが、
0:34:19	確認いただきたいなと思っていました。
0:34:25	ここで
0:34:27	述べさせていただいてるのはあくまで
0:34:31	ホクレン原燃構成燃料集合サイト向け燃料集合体の
0:34:37	警察の影響メールという点で原燃工で燃料集合体に関しては、
0:34:45	最も厳しいであろう。
0:34:49	設計のやつだけを特出しで書かせていただいて、
0:34:52	規制庁のサンゴですけれども、今ですね模擬燃料集合体の試験に対して原燃工性能燃料集合体の落下試験はこうだというふうと比較して、
0:35:04	原燃工性の落下し、試験のほうが一番厳しいというふうの説明があって、
0:35:10	そこからさらに原燃工性の燃料集合体には幾つか種類があるので、落下試験の原燃工さんの落下試験に使った燃料集合体が、それらを代表するという説明になるんですね。
0:35:25	はい、はい。
0:35:28	なのでまあ今これは 19 ページは模擬燃料集合体との比較なんですけども。
0:35:38	今、NFIさんが挙げている収納物の種類の中で落下試験にNFIさんの落下至近のものが一番厳しい条件だということを示す何か比較表が必要なんではないかなと思うんですけども、
0:35:54	それはいかがでしょうか。
0:36:02	カードのてー交通います。また、
0:36:09	説明は載せる載せない載せても問題ないんですけども
0:36:15	イメージとしては下表叢施策附属 3-4 ページ。
0:36:21	情報に載っております燃料集合体費用をぞ。
0:36:27	わかった上で、
0:36:30	この項目は、これが厳しい状況。
0:36:35	また、
0:36:36	例えば財産に過年齢を集合体の概算に関しては大きいほうが厳しいよとか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:36:46	集合体流量に関しては重いほうが厳しいをとか、そういったことを並べていく形になる。
0:36:53	かなというイメージで
0:36:57	最終的にはね燃料棒重量除けば全部対 17 型タイプ 5 名の方が厳しいよね。
0:37:05	ということがいえると。
0:37:09	燃料棒流量単体で見たから見ると 14 メーターを 15 のほうが厳しい。
0:37:19	或いは事実のエックス線いって、
0:37:24	先ほどまで議論になっておりまして、定量的な説明。
0:37:28	単体で見た場合でも衝撃は、
0:37:32	何で余裕があるので大丈夫ですよとかそういう流れていくのかなと思います。はい。
0:37:41	なので、三和さんのおっしゃられてることは対応できると。はい。
0:37:47	はい。規制庁のサンゴですけれども、そういった流れであるならば、特にあの表を追加するとかっていうところは必要ないのかもしれないんですけども、
0:37:58	最初のこれからの指摘があったような形で、論理展開するのであれば、
0:38:07	今言ったような集合体の中での比較というところは、それに含まれるのかと思います。
0:38:13	今ちょっと
0:38:22	この差 4 ページ目の表の中で、
0:38:26	燃料棒重量が間違いがあるけれども、それについては、
0:38:32	余裕の範囲内に収まるというところがなんか
0:38:37	論理的に説明できる。
0:38:40	ていうところが追加されるというふうに理解すればよろしいですかね。
0:38:45	そうですね。そう。その戦争前にさんおっしゃられたように、
0:38:49	私所用体制は一つ一つどこまで細かく文章はちょっとあれですけども見たとしても、
0:38:59	ほかの項目は厳しくないけど、総重量に関しては、
0:39:04	べし 5405 のほうが厳しいですよっていう
0:39:09	なお、ちょっとワンクッション置いた説明を入れてくって入れることになると思います。はい。すいませんホデですけども、防重量はっていうのは集合にならないんで。
0:39:20	変形に対してはとか損傷に対してはということ、そういう観点でね、要は

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:39:28	どの指標を使う、例えば全体の共同だったら集合体の重量かもしないし。で、その中で、棒の1本1本の変形と加工が壊れるとか壊れないんだったら今度棒、そのあるある衝撃力を受けた棒に対してどうだっていう話だから、
0:39:44	それで初めてものが被覆管が壊れるとか壊れないとか、変形するとかしないとかって出てくると思いますんでね。
0:39:52	必ず、要は最終的な目的は、壊れやすさっておかしいですけども、落下したときに受ける発生する応力は、どれが一番厳しいですよ。厳しいやつでもこんなに余裕ありますよ。だからほかの問題ありませんっていうふうな形でね。
0:40:13	そういうのにて返してくださいね。
0:40:16	はい、承知いたしました。
0:40:21	おそらく、はい。
0:40:22	名ではあったのかと思います。すみませんちょっと日本語が通じないと思います。
0:40:47	規制庁のサンゴですけれども、じゃあえっと次のものに説明お願いしてもよろしいですか。
0:40:57	はい、承知しました。
0:41:01	資料2です。鉄鋼にですけれども、臨界解析の附属資料数次につきましても、
0:41:11	評価条件を具体的に40年続くでしょう。評価条件明確キタノ明確化した上で、
0:41:22	すみません映像は釧路について標準化具体的に抑えることという指摘事項に対して、学会という判決も本当にそれでは資料1に臨んでですね吹いて修正を
0:41:39	入れさせていただいております。
0:41:41	資料2のほうをご覧くださいまして、資料に今のフローの附属資料1と。
0:41:50	というのが答えますが、こちらで廃炉ハッチングを
0:41:56	6方位について文章について説明を
0:42:01	追記させていただいております。
0:42:05	具体案が例えば
0:42:08	一番のKF炉のEF附属の1-2ページにございます一番、開閉のページ、まとめの補正の部分について言いますと、
0:42:21	何ケースごとに水密度変化させて解析を行ったことを述べたり、あとは配列ですと、具体的にどの配列条件でこのサービスをやったほか、
0:42:37	いうのを明確
0:42:41	じゃあ、あとは収納部の評価条件についても、表の6-Eの維持及びE-8に示す、特別の試験条件下における評価条件を用いたといった形で明確化したと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:42:58	うん。これが一番に、
0:43:01	だけではなく、すべての評価において反映させたと。
0:43:06	対応になります。
0:43:10	設計事項 2 に関しては以上でございます。
0:43:27	はい。すいません。規制庁のサンゴですけれども、
0:43:33	はい。
0:43:36	こっちらつと次の指摘事項の③等関連するところもあるので、③の説明をもう お願いできますか。
0:43:48	はい、承知いたしました。
0:43:50	引き続き指摘事項 3 ですけれども、こちらは臨界解析における保守性を明確 化すると。
0:43:58	所ですが、もともと、
0:44:04	すみません、こちらについてはA炉のE-4-1。
0:44:09	まず 5 において、
0:44:11	人解析モデルの中ご出席を考慮した項目を示す形に修正しております。具体 的には、資料 2 におけますーのE-3 ページ。
0:44:24	ございます。こちらも灰色でハッチングしてる部分について、
0:44:30	どういった点を厳しいモデルにしているかと。
0:44:35	いう点について、まとめております。
0:44:42	こちらで示してるの
0:44:45	実際の現実、まだ、例えば落下試験、
0:44:52	そうで確認されたんでしょうか。すいません、落下試験だけじゃなくて、耐火試 験もそうですねで確認された事象に対してはその事象より、より厳しくモデル 化した。
0:45:06	保守的にモデル化した点について、まとめたという形になります。
0:45:12	内容としましては表
0:45:15	表 1、
0:45:19	家ですね、表土のE-1。
0:45:23	それで、モデル化について書かれてるんですけれどもそこから特出しで、こう いった点は現実よりも厳しい、保守的なモデルを使ってますよという、
0:45:34	のをまとめたという形になっております。
0:45:39	以上です。
0:45:51	規制庁のサンゴですけれども、
0:45:56	指摘事項③のほうに関係することになるんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:46:00	厳しい。
0:46:02	条件のモデル化っていうところで、
0:46:08	燃料棒の一部の破損っていうところから出ません。
0:46:17	すみません、規制庁のサンゴですけれども、
0:46:20	はい言い直します。
0:46:24	厳しい条件でのモデル化というところで燃料棒が破損するけ破損したというところも書いてもらってあって、
0:46:33	その中でペレット等がどうなってるかっていうところにも言及されてないんですけども、
0:46:39	これは、
0:46:41	トラブラエクセルでの実証試験のところでペレットが脱落してない。
0:46:49	っていうところも、
0:46:51	から、
0:46:52	規程っていうところと、
0:46:55	ええ、原子燃料工業さんの落下試験、
0:47:00	では、防自体が破損がないというところで、
0:47:04	中身が出るっていうことはないというふうなのが、
0:47:08	原岩に示されているということでしょうか。
0:47:13	あと、実際のところ申し上げますと、まずその点に関してのついでいうのができてないのが現状でございます。つまり、もともと申請書の時点のロジックとしては、
0:47:28	模擬燃料集合体については亀裂発生したけども呆れた小さいので、
0:47:34	脱落しませんで、原燃工製燃料に対しても同じ、同じことが言えますよという説明でもEPRI顎ご説明してたものですから、日解析に関しても、き裂は、はい。
0:47:51	Lをテーマ水は侵入しますけども、ペレットの脱落塗布を置きませんっていうとの説明になっております。
0:48:01	なんでちょっと今
0:48:05	説明の法制少し変わっていかないしてございまして、模擬燃料集合体についてはまきえさ生成された。
0:48:14	だけど原燃工製燃料、
0:48:17	の場合は、亀裂発生しませんわという等の説明に今変えようと考えておりますので、この章に関しても、その点はへん。
0:48:30	調整していく必要があるかなと思っております。
0:48:34	はい。規制庁のサンゴです。そうすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:48:39	ローEの30ページのところに書いてあるの。
0:48:44	条件が並べられているところの一番運営なんですけれども、
0:48:50	試験の結果、
0:48:53	破損は見られないけれども、
0:48:57	その保守的に考えるために、一部は燃料棒の
0:49:02	中に水を入れるみたいな書き方になるのか、そもそも燃料棒内の浸水はなく、 評価する方向になるのか、そこを教えてくださいませんか。
0:49:13	はい。本震としましては、そう。
0:49:17	はい、落下試験の結果、
0:49:20	落下試験の結果っていう投下し、
0:49:24	／炉の前少量評価の結果、弊社製燃料には燃料棒
0:49:31	に破損亀裂は生じないと考えられます。
0:49:36	が
0:49:39	燃料すべての燃料棒内への支援水は考慮すると、ちょっと日本は考えますけど どそういった
0:49:48	等になると思います。
0:49:50	なかなかそうは起こら起こりませんが、浸水は考慮しますという形ですね。
0:49:58	規制庁のサンゴですけれども、わかりました。ええと仮想的に水の中に入れる というモデルになるので、
0:50:05	破損の結果なんかが出てくるとかっていうところは、そういった
0:50:12	仮定の範囲外なので、そういうものは粉末がなるとか、中身がふざけるとかそ ういうところは考えなくてよいという理解でよろしいでしょうか。
0:50:22	はい、そのようにご理解いただければと思います。
0:50:26	はい。規制庁サンゴです。わかりました。
0:50:36	すいませんホデですけれども。
0:50:38	はい今見た今のようですね、仮想的な話も、
0:50:43	その前提として入ってくるんで、あと、要は
0:50:50	特別の試験条件の時特別の試験条件の評価黒潮への急行かな。評価するこ とになりますよね。労働省への給であり、ろ紙及び剛体耐火試験とか何とかっ ていうところで、
0:51:07	結果としてね、要は臨界解析モデルをどうしたか。
0:51:12	どうしたかという、ここの結論に繋がるように、全部その路上への給なりいろ いろへの給

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:51:19	当労働省B-5の結論が繋がるような、例えばこことここはこういう損傷があったということで、で臨界解析においては、特別の試験条件において輸送物は、
0:51:36	例えばどっかが破損して、
0:51:39	ただし、これは健全であることからこういうモデル化にしましたっていうふうな必ず繋がるようになってるかっていうことを確認していただきますね。
0:51:50	調整いたしましたな書きぶりp2、ちょっと関わるところありますが、
0:51:57	き裂の煙がそもそも変わるところでございますので、ちょっと修正は、その上でた感想的にこういう今のね、例えば、
0:52:10	被覆管の中に水入れるとかっていうことはも仮想的な条件になってきますよねこれね。はい、あくまでも今の、要は最初でいろいろ御説明いただいたシナリオがサクセスフルに説明できれば、
0:52:28	被覆管は壊れませんと。ただし今仮想的にこうしましたとかね。
0:52:33	いうふうな形になると思いますんで、その辺がね、繋がるように、
0:52:39	必ず
0:52:41	なんかよく見ていただきたいと思います。それはここで参照とご相談なんですけど、この表のろうのE-1、Eのところではそういった書きぶりを意識して証いただいたつもりでして、
0:52:59	試験結果を並べたものに対して全部モデル化を並べてこういった形で、
0:53:07	あろうEのところ、これでいい。
0:53:09	労働Eのところ、ちょっと程度思ういいの。
0:53:15	2ページ。
0:53:18	その上で、表。
0:53:20	この場はその予約的にまとめるってことですね。
0:53:24	0小松で過小評価見解を図ります。
0:53:29	わかりやすく全部繋がってればいいです。
0:53:34	はい、承知いたしました。こちらに書いてる結果。
0:53:37	試験結果と、症だったりBの結果というのが矛盾がない商品になってるということは確認してるつもりではあるんですけども、再確認させていただきます。
0:53:51	そこが重要なポイントだと思いますのでよろしくお願いします。
0:53:56	はい、承知いたしました。
0:54:16	あのときもちょっとやっぱり何だ。
0:54:22	0.95に対してね、非常に厳しい結果が
0:54:26	出ていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:54:27	いうことは、非常に近い値ねということなんで、
0:54:34	例えばこれでこれぐらい実査あり得ないことあり得ないと越塚層的な条件を現実的な戻したら例えば系って大分落ちる可能性もあるんで、例えばこういうところでこの契約はこれぐらいの余裕がありますというところまで大きいところで結構です。
0:54:49	仮想的なところで結構だと思うんで。
0:54:52	そのね、割り合い具合で、
0:54:57	実際系は例えば 0.95 に非常に近い値だけれども、
0:55:01	これを実際のこういう仮定で置いて実際にその径の違い、Kの差っていうのは、例えば 5%ありますとかですね、いうことはわかるようにしといてください。
0:55:17	少々お待ちください。マサオカさん。
0:55:22	原燃工のマサオカでございます。
0:55:26	どんだんなんかどれがとかってわかりますか。集まればなんですけども、この異議の工夫の上の 1-10 ページ、最後に聞いていただきたいんですけども。
0:55:42	これ
0:55:44	きっかけ条件下における売上程度車モデル化の影響という
0:55:51	ごめんなさい、もう 1 回なのですか。すいません。
0:55:54	何ページで、あと炉の炉の D-6-1-12 ページで接続の資料 2 の一番最後のページでございます資料の一番最後、
0:56:07	これね。はい。
0:56:09	アプリファイルエラーに
0:56:12	特別の試験条件下におけるポリエチレン製と黒のモデル化の影響という
0:56:18	■■■■を示させていただいているんですけども、これ実際ポリエチレン手袋って言うのは、耐火試験の結果でも溶けないという結果になってる温度なんですけれども、■■■■
0:56:36	■■■■
0:56:44	■■■■
0:56:50	■■■■
0:56:58	■■■■
0:57:01	■■■■
0:57:04	■■■■それが一番厳しい条件を今回モデル化してるんですけども、評価モデルとしているんですけども、例えば■■■■

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:57:21	■■■■
0:57:24	■■■■ 今回の評価モデルなんですけれどもを比較していただくと いいです ■■■■
0:57:35	■■■■
0:57:40	うん。
0:57:41	■■■■
0:57:44	■■■■ ■■■■
0:57:58	■■■■
0:58:02	■■■■ ■■■■ ■■■■
0:58:18	■■■■
0:58:23	ここはちょっと乖離できないかもしれないですけど思いますけど、■■■
0:58:28	言葉になったら会議できないと思いますが ■■■■
0:58:33	■■■■
0:58:39	■■■■
0:58:41	■■■■
0:58:44	■■■■
0:58:48	■■■■
0:58:51	■■■■ というところでございます。
0:58:56	事例としてははい。
0:58:59	うん。
0:59:00	だからこれこれ非現実的なモデル化ってということなんですかね。例えば ■■■■ ■■■■、ということで、
0:59:09	■■■■ 全体の体系から見たら、
0:59:15	■■■■ というのが一番効くんですか。
0:59:20	下段聞いております。はい。
0:59:26	あまりあり得ないことを重ね継ぎ手キーワード費というのをね、実際、それはもう逆に申請される側の考え方だと思うんですけども、
0:59:40	どうですかね、あんまりありもしないこといっぱいいっぱい重ねるっていうのも どうかなっていう気もちょっとしてまして、要はある程度得られたところから、要 は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:59:52	何かペナルティーを与えて評価してこうなりますよっていうぐらいのところですね。で、例えば、例えばこうあって例えば
1:00:04	パラメータサーベイみたいな形でね、これぐらいの感度があるけどあっても大丈夫よというふうな言い方もできるじゃないかなという感じはしています。
1:00:15	見た、今お話いただいた結果を踏まえるとね。
1:00:19	はい。だからちょっとまあその辺は
1:00:23	こんな条件でこれをやってこういう
1:00:27	ちょっと
1:00:28	実際のその損傷状態、特別の試験条件でやった損傷状態に踏まえて、プラスこういう仮定をおいても、このレベルですよっていうところをメインにされるのか、あり得ないあれありえない条件をいっぱい重ねてキーワード結果で、これでもかこれでもかで説明されるのかっていうのはもう
1:00:47	お任せしますけども、あんまりキーワードいと。逆に、ちょっとなんか触れたらね。
1:00:54	9号のゾーン超えちゃうんじゃないかと。
1:00:57	いうふうに見えてしまいますので、その辺は十分全体のその臨界解析で説明されるシナリオをよく考えて今適切かどうかっていうのはちょっともう1回吟味していただければと思います。
1:01:18	はい、表頭改革に繋がっています。はい、お願いします。
1:01:27	はい。
1:01:30	ありがとうございます。ありがとうございます。
1:01:42	規制庁サンゴですけれども、ほか、何かございますか。
1:01:48	いえ。
1:01:49	資料1から3年生は特にございます。
1:01:53	何か。
1:01:58	一部、
1:02:00	さらに高資料の修正があるような部分があるというところだと思うんですけども、
1:02:08	ええ、どれぐらい
1:02:11	各科ありますか。
1:02:15	今週中には出せると思います。
1:02:19	わかりました。
1:02:23	規制庁側からは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:02:25	規制庁のサンゴですけれども、規制庁側からは以上ですけれども、原燃工さんの方から何かございますか。
1:02:37	F。
1:02:38	次回の審査会合ですね
1:02:43	おそらくツリー
1:02:48	それから、次の患者直した資料核再度確認していただいてからっていう形にはなると思うんですけども。
1:02:59	いろいろ今の面談の中でコメントはいただいているんですけども、どこどこまでを外挿していけばよろしいのかというと、
1:03:08	基本的にはこの資料1ベースですけれどもそれがよろしいですか、例えば引間さんおっしゃられたような臨界の話。
1:03:16	であったりとか、そういった点までは確かに。
1:03:20	また別の機会です。
1:03:27	規制庁のサンゴですけれども、
1:03:30	資料1のみですと、今指摘事項②③の回答。
1:03:36	が、
1:03:38	資料2を参照ということになっていて、これだけだとかにならないので、もし今日使ったような資料にみたいな形G取らないのであれば、
1:03:51	資料1の中に
1:03:54	ある程度のことを書いていただく。
1:03:57	くないとわかりにくいのかなと思いますけども、
1:04:02	すいません鎖線説明の仕方がすごい我々申し上げては申し訳なかったです。現上げネクタイです。
1:04:11	ならば支援ですと審査会合を行うとして回答。
1:04:18	する内容っていうのはあくまで隻事項1から3に関して、
1:04:26	私募行えばよいという理解でよろしいでしょうかという質問ですね。
1:04:34	今お話をさせていただいた中で、時IからIII以外の話というのもちょこちょこお話しさせていただいたと思うんですけどもそちらは特に
1:04:46	これない形でもよろしい。
1:04:49	でしょうかという、はい。
1:04:52	規制庁のサンゴですけれども、この資料1の中身をわかりやすくするためにこういう説明があるのかっていうところを確認させていただいたところですので、
1:05:03	資料1の内容が
1:05:08	理解されるようなために必要なことであれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:05:13	説明をしていただかないと同じようなわかりにくいですねというふうな話になるかと思えますけれども、
1:05:23	はい。
1:05:24	今、
1:05:25	例えば
1:05:28	不正や
1:05:30	の今後補正をさせていただく中で改善したほうがいいよというような
1:05:38	私のコメントについては、
1:05:42	別途補正のときに、
1:05:45	精査いただくみたいな原理ですか。
1:05:49	例えば
1:05:51	炉のEのところ、議論のAとBの関連性をよく見といてくださいねといった形でコメントはいただいたと思うんですけども、
1:06:04	見た上で、おっけい修正、大きな修正がない限りは、そこに
1:06:12	そういった点は、
1:06:14	答えなくてもよい。例えば指摘事項4に追加したりとかそういったところまでは必要ない。よろしいですか。
1:06:21	規制庁のですけども、そういったところは良いとリアルなところなので、
1:06:29	特に議論する必要はないとは考えてます。
1:06:34	はい、承知いたしました静的失礼しましたすいません、ホデですけども、この指摘事項の回答をね、ちょっと例でいうと、今日のね、いろんな議論を踏まえてですね。
1:06:50	例えば、
1:06:52	6ページ。
1:06:53	に加速度の比較会議だけですよね。ね。
1:06:59	これで
1:07:02	ある事実が、
1:07:04	書かれているわけですよ。原燃工さんの燃料壊れませんでしたって話と、内トラブルの中に入ってる燃料よりも大きい加速度を受けてますっていうのがこれのこの結論ですよ。
1:07:18	はいれさらに要は今日幾つかどこを見るとか、応力みたいなもので比較したらどうかというふうな話をちょっとしましたけども、その辺の結論、例えば、
1:07:34	ここで1717億円ですよ。で、次のページに猶予も1517もOKですよ。だから結局この結果で踏まえて要は今入ってる。逆に言うと、収納部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:07:49	模擬燃料集合体と。
1:07:52	こういう結果だったけれども、実際御社の変量入れ御社燃料が収納されているときにはされる場合は全然も問題ないことを確認したのか、確認できたって いうふうな旨のことね。
1:08:04	まで書いてもらいたいなと思います。
1:08:07	そうすると、そうすると、
1:08:11	結局有銘あの落下試験のね。
1:08:14	落下試験の亀裂が入ったということが全く、要はそれぞれは一つの事実として、 そっからちゃんと原燃工さん自身がへのみずから燃料耐震評価をしたって いうことで、それでその結果、大丈夫だということがやっぱり大事だと思うん ですよ。
1:08:34	そう。そこまでいえるようにわかるような資料にしてもらいたいと思いますこれ はね、
1:08:42	はい、承知しました。
1:08:50	で、
1:09:00	あと臨界解析の部分も今y本文の資料、資料2の形でね、今日御説明いた だいてますけども、
1:09:12	例えば、
1:09:14	██████っていうのに対して、
1:09:17	日現地期限実績とかでいろいろ仮想的な条件としてね、これがあって、実際こ こ、これ実は起こり起こり得なくて、実際のところ、要は特別の試験条件の損 傷プラス何かであれば、このレベルですよと、これに対してこういうことを考え た結果、
1:09:35	その0. 幾つですよというようなことが、
1:09:39	この資料から読み取れるようにしていただければと思います。
1:09:48	よろしいですか。聞こえたんですか。
1:09:52	マサオカ数、連絡をキタノするマサオカ3B系とする。
1:09:58	はい、承知いたしました。
1:10:01	はい。
1:10:02	はい。
1:10:04	でもマサオカでした。はい。
1:10:09	はい、結構です。以上です。規制庁サンゴですけどもそれではよろしいです かね、原子燃料工業さんからは以上でしょうか。
1:10:19	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:10:20	以上です。
1:10:22	はい。それでは本日の面談をこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。